



オフィスワーク生産性研究会

2003年度活動報告



1. 2003年度の活動
2. 先進四社事例比較
3. 「ホワイトカラーの生産性」
4. 今後のアプローチに関する
ひとつのアイデア
5. 2003年度活動から見えてきたこと
6. 2004年度の活動

2003年度の活動



先進事例オフィス見学

- ・アクシスソフト
- ・IBMビジネスコンサルティング
- ・コクヨ
- ・リンク&モチベーション

議論

- ・ホワイトカラーの生産性とは？ で議論白熱
 - 生産性をコスト、面積などでメジャーするのは一面的すぎる。
 - 「働く意欲・モチベーション」でとらえるべきではないか。
- ・関西学院大学 古川靖洋教授による研究紹介(5月)
 - オフィス環境改善はホワイトカラー生産性向上の
必要条件ではあるが十分条件ではない
 - オフィス環境の大規模改善は社員の意欲を向上させる

まとめ

- ・見学事例について、「課題」、「効果」についてまとめる。
 - 移転・改装の課題とねらい
 - オフィスコンセプトと経営戦略
 - 「実現できたもの」と「実現できなかったもの」
 - 企業ビジョン、ミッション、経営戦略への影響
 - 経営者、ステイクホルダ、従業員への影響、満足度

先進四社見学事例比較



	アクシスソフト	ココヨ	IBMCS	リンク & モチベーション
移転・改装の課題と狙い	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスが手狭 ・ブランドイメージ ・プロジェクト生産性 ・インフラ整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客密着度を高める ・先進的な「働く環境」 	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客との距離短縮 ・仕事と生活のバランス ・場所に関係ないワークスタイル 	<ul style="list-style-type: none"> ・付加価値創造のワークスペース
オフィスコンセプトと経営戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト型オフィス ・創造力の発揮 ・ブランド向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブオフィスによる受注増 ・新しいワークスタイルの実践 ・ITインフラの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナレッジワーカーのプラットフォーム(学習促進のインフラ) ・モバイルワークの実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・WMSによるワークスペース立案 ・事業活動仕組としてのオフィス
「実現できたもの」	<ul style="list-style-type: none"> ・空間的なゆとり ・セミナールーム ・サービス機能集約 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいワークスタイルの実践 ・新しいワークスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ完璧なデジタルオフィス ・「5人に1席」フリーアドレス 	<ul style="list-style-type: none"> ・リアルコミュニケーションの場 ・実効性の高いワークスペース ・顧客への説得力
「実現できなかったもの」	<ul style="list-style-type: none"> ・空調コントロール ・無線LAN 	<ul style="list-style-type: none"> ・定着と発展形の提示 ・旧来型マネジャーの行動代替 	<ul style="list-style-type: none"> ・F2FのIT環境完全化 ・会議室レス 	<ul style="list-style-type: none"> ・増え続ける書類の削減 ・IT管理ツールの整備
企業の経営戦略への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・モチベーション向上 ・コミュニケーション向上 ・受注活動機会の創出 ・顧客満足度向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワークスペース提案企業」としての認知 ・受注活動機会の創出 ・レイアウトコスト削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・マネジメントのリアルタイム化 ・コストの大幅削減 ・受注活動機会の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスに直結するWMS ・受注活動機会の創出
ステイクホルダーへの影響	<ul style="list-style-type: none"> ・経営:ブランド向上 ・社員に喜びと自信 ・集中とコミュニケーション可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営:企業イメージ向上 ・仕事に応じ「席を選べる」 ・顧客:「イメージ」の具体化可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営:売上21倍、生産性2倍 ・自立、学習する人材輩出 ・「秀でた会社」ブランドイメージ 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営、社員、顧客の核がオフィス ・WMSで社員の声反映 ・「一体となったオフィス作り」評価
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィスの統合 ・どこでも仕事できる環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト定着、発展の仕組 ・IT駆使のワークスペース構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・超分散、コピキタス ・情景共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティセッティング ・データセンタ、業務支援システム

ホワイトカラーの 生産性

「創造的オフィス環境」
新時代のオフィスと
ホワイトカラー

関西学院大学
総合政策学部
古川靖洋教授

ホワイトカラーの生産性への影響要因

サンプル数3110人
1990調査: 関西学院・古川教授

時間的節約度(効率性)への貢献

1	OA機器などの充実度
2	オフィスの最適配置度
3	リフレッシュスペースの充実度
4	オフィスでの改善点実現度
5	疲労を感じさせないオフィス度
6	仕事への自己能力貢献度
7	雑音防止度
8	1人当りのスペースの充実度
9	学習機会の充実度
10	経営理念に対する共感度

アイデア創出度(有効性)への貢献

1	仕事への自己能力貢献度
2	学習機会の充実度
3	自由な雰囲気での意見交換度
4	経営理念に対する共感度
5	オフィスでの改善点実現度
6	権限委譲度
7	リフレッシュスペースの充実度
8	疲労を感じさせないオフィス度
9	オフィスの最適配置度
10	自宅に対するオフィスの快適度

ホワイトカラーの生産性への影響要因

サンプル数3110人
1990調査:関西学院・古川教授

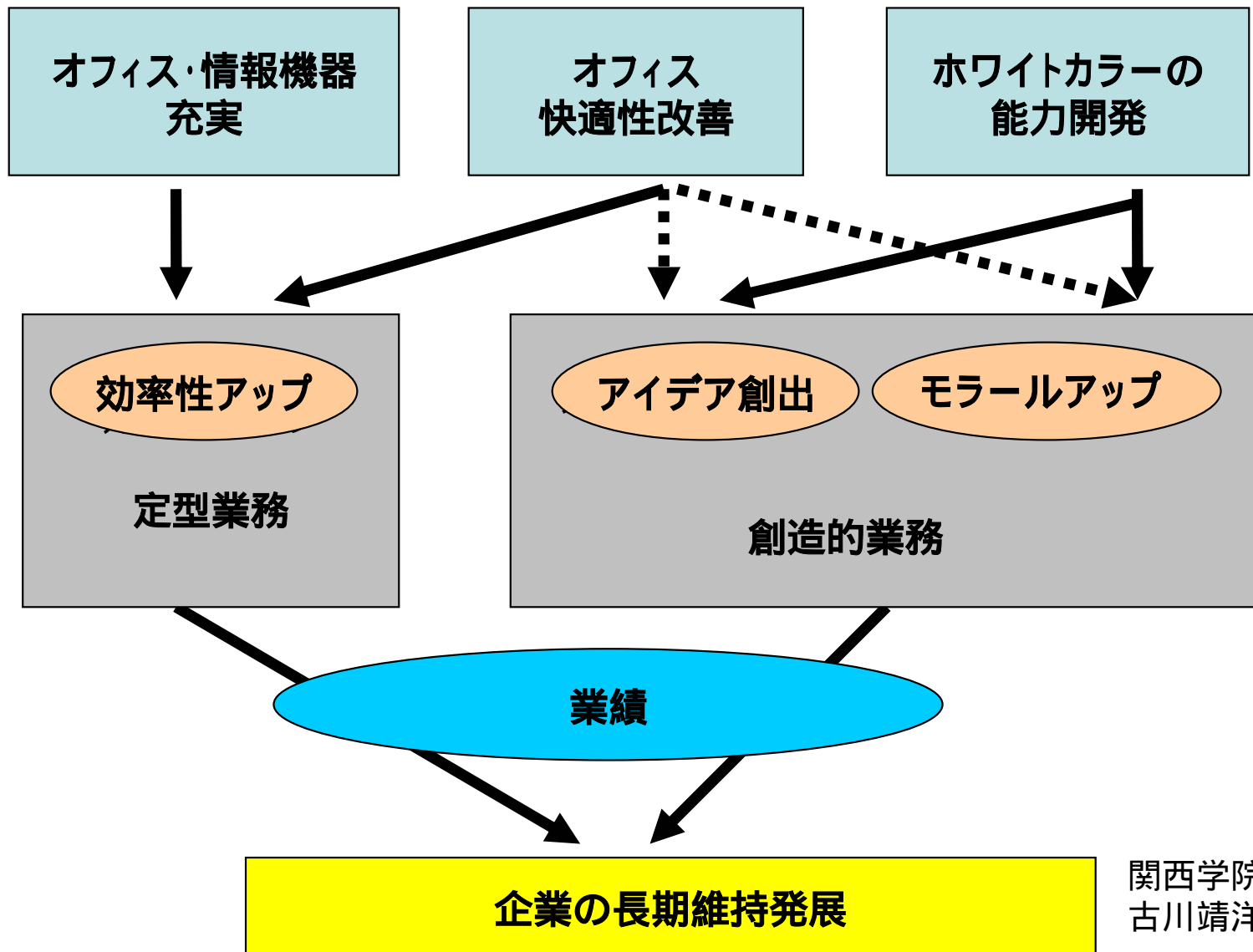
帰属意識(有効性)への貢献

1	経営理念に対する共感度
2	仕事への自己能力貢献度
3	企業イメージ
4	学習機会の充実度
5	自由な雰囲気での意見交換度
6	オフィスでの改善点実現度
7	疲労を感じさせないオフィス度
8	リフレッシュスペースの充実度
9	自宅に対するオフィスの快適度
10	オフィスの最適配置度

意欲(有効性)への貢献

1	仕事への自己能力貢献度
2	学習機会の充実度
3	自由な雰囲気での意見交換度
4	企業イメージ
5	経営理念に対する共感度
6	権限委譲度
7	オフィスでの改善点実現度
8	オフィスの最適配置度
9	疲労を感じさせないオフィス度
10	自宅に対するオフィスの快適度

オフィス環境・能力開発と企業業績・発展との関係



オフィス環境改善の効果 (行われなかったは期待効果)



	大規模改善	中規模改善	行われなかった
コミュニケーションの促進	まあまあ (2.1)	まあまあ (2.1)	大きい (2.0)
会社へ満足感の向上	大きい (1.8)	まあまあ (1.9)	大きい (1.8)
社員のやる気向上	まあまあ (1.9)	まあまあ (1.9)	大きい (1.8)
会社に一層いたくなる	まあまあ (2.5)	まあまあ (2.5)	大きい (2.3)
アイデアの創出	まあまあ (2.4)	まあまあ (2.4)	大きい (2.2)
会社のイメージ向上	大きい (1.6)	まあまあ (1.8)	大きい (1.6)
業務の効率性向上	まあまあ (1.9)	まあまあ (1.9)	大きい (1.8)

- ・数字が小さいほど改善効果が高い
- ・中規模改善は効果をほとんど感じていない
- ・「まだやってない人」には過度の期待感ある

・やるなら抜本的改善を！

1992サンプル数3496人
分散分析による

オフィス環境改善とその効果

サンプル数3496人

1992調査: 関西学院・古川教授



相関性大

相関性あり

	コミュニケーションの促進	会社に対する満足感の向上	社員のやる気向上	会社の一層いたくなる	アイデアの一層の創出	会社イメージの向上	業務の効率性向上
リフレッシュスペースの充実							
植栽絵画設置							
空調の改善							
スペースの充実							
OA機器の充実							
ファイリングシステムの充実							
レイアウトの改善							
照明の改善							
騒音対策							
喫煙対策							
家具の改善							

オフィス環境改善はホワイトカラー生産性向上の 必要条件ではあるが十分条件ではない

1. 定型業務の効率アップには効果ある。
2. 創造的業務の生産性向上には「能力開発の仕組」、「学習機会」、「経営ビジョン」がもっとも重要である。
3. オフィス環境改善は社員の帰属意識、会社イメージに効果があり、創造的業務従事者のモラルアップにつながる。
4. オフィス環境改善が創造的業務の生産性に、より有効となるには
 - ・経営者のオフィス環境改善への姿勢(ビジョン)
 - ・社員参画型のオフィス環境改善活動
 - ・局所的レベルから全社レベルに広げる
5. ファシリティマネージャは社員の創造性、知的能力がフルに発揮できる、ソフト面のサポートに、より注力すべき。

オフィス環境改善と生産性への相乗効果

- 古川レポートを参考にした当部会のアプローチ -



「相関性あり」ビッグ項目

- ・会社に対する満足感(帰属意識)
- ・会社に一層いたくなる(快適性)
- ・会社イメージの向上(ブランディング)

「相関性あり」

- ・アイデアの創出
- ・コミュニケーション促進
- ・業務の効率性向上

重要オフィス環境Top7

- レイアウトの改善
- 騒音対策
- ファイリングシステム
- OA(IT)機器の充実
- 家具の改善
- 照明の改善
- 空調の改善

オフィス環境「Key Word」

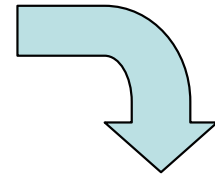
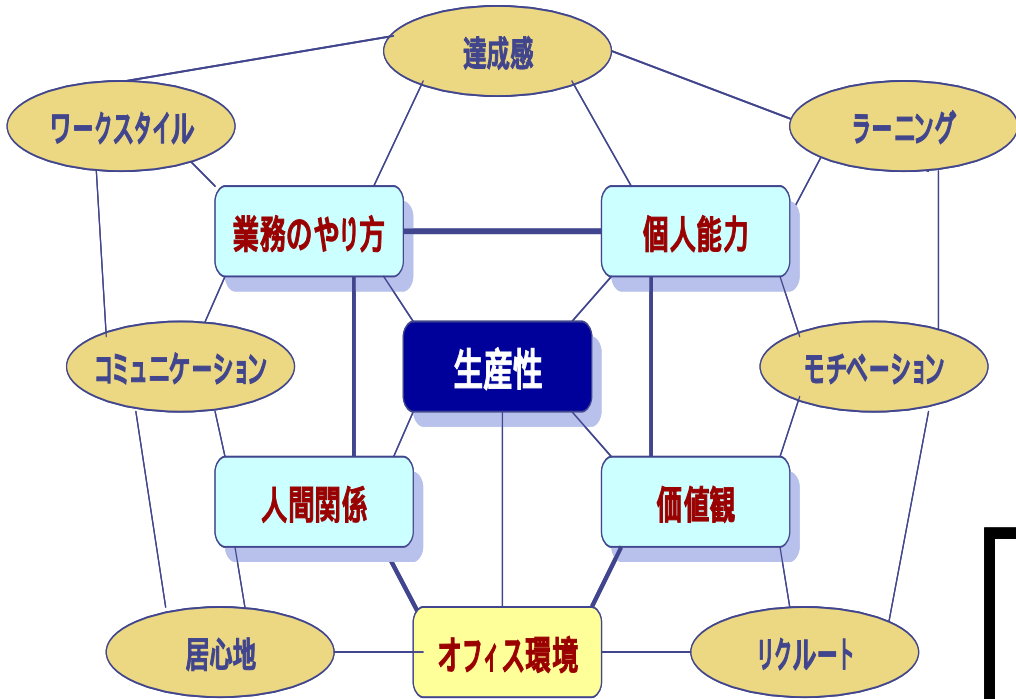
- ・ワークプレイスデザイン
- ・エルゴノミクス
- ・ファイリング
- ・情報技術

生産性評価

- ・社員モチベーション
- ・ファシリティコストと情報通信コスト
- ・ファイリング(量とやり方)

それぞれのモデルケース(事例)

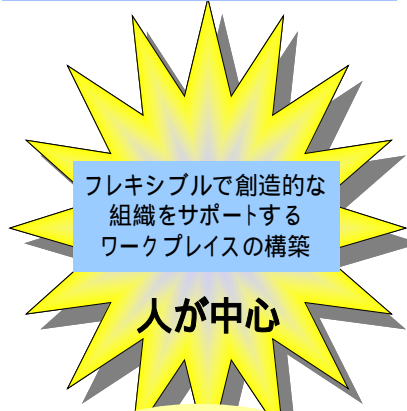
今後のアプローチに関するひとつのアイデア



経営革新と生産性向上

Human-resource Engineering
ヒューマンリソースエンジニアリング

Workplace Engineering
ワークプレイスエンジニアリング



(参考) FMSの考える
オフィスづくり提案(トータルFM)
<IRM (Infrastructure Resource Management)>

オフィスワーク生産性研究会 2003年度活動から見えてきたこと

1. オフィス改革先進企業事例からの共通点

- ・ オフィスをビジネス活動(受注機会の創出)の場になっている。
- ・ 企業ブランド向上に寄与している。
- ・ 少なからず「社員のモチベーション」につながっている。
- ・ さらなるIT進化による改革を指向している。
- ・ 経営トップがオフィス改革への明確な理念、指針を持っている。
「カッコよいオフィス」は社員も胸がはれる。

2. 生産性は「コスト」だけでない。

- ・ 「モチベーション」にもっと焦点をあてるべきだ。
- ・ 古川先生の調査データは有益だが、その後のIT環境の変化、
オフィス ワークプレイスへの変化などを反映して要再研究。

2004年度の活動



・名称の変更

「ワークスタイル・ワークプレイス研究会」

・「働き方の変化」を視点に入れた

未来指向のワークプレイスを研究する。

* ワーク・ライフ・バランスからのワークプレイスのあり方

* スローライフ実現のためのワークプレイス

* 情報技術を使ったワークスタイル、ワークプレイスの将来像

・事例研究を中心とする

* 上記の視点でオフィス、ワークプレイスを構築した事例

* 「変化する働き方」をサポートするサービス機能

* 海外事例の研究

・「ホワイトカラーの生産性」は分科会で継続して研究する。

・成果物

* 次世代ワークスタイル・ワークプレイス調査報告書

* 新たなホワイトカラー生産性指標